第１回　意見交換会　要旨

開催日時	９月　２５日（火）　　１９時００～２１時００		
市町村名	三郷村	グループ名	
メンバー	（◎：司会、○：記録者）		

座長より『**三郷村の現状（交通、通路、ｅｔｃ）はどうか？改善の方向は？**
三郷村からみた、高規格道路建設のメリット・デメリットは？』
との問題提起を受けて、１３名（司会、記録除く）が発言しました。賛成、反対の双方の立場から、**１．三郷村の現状と問題点**がだされ、改善の方向として**２．（１）建設推進【賛成】（２）既存の生活道路拡充【反対】**の２方向が出ました。又、高規格道路とは何か？という内容があいまいなままでは、意見形成は無理という立場から、**３．県の担当者への質問＆回答**が、いくつかありました。
そして最後に座長より**４．『次回もっと沢山の村民の参加を得るには？』**との問いかけがあり、それに対していくつかの積極的な提案が出されました。

以下、上の番号順に発言内容をまとめました。

１．三郷村の問題点：
①広域農道の通勤時渋滞‥‥‥‥‥農道の両側に農地を持ってるが、信号で渡ると３０分もかかる。
②小倉地区農協前朝のラッシュ‥‥大町・松川方面から松本西部へ向かう通勤車両、騒音、環境悪化、通学児童・生徒が交通事故のおそれ。リンゴ農薬散布時間帯への影響。
③広域農道の歩道がない場所があって、自転車や歩行に不便。
④街灯が梓川村に比しても極端に少ない。
⑤冬場、歩道の除雪がされない。

２．（１）高規格道路賛成する理由：
①広域農道渋滞解消の期待。小倉地区の騒音、生活環境改善の期待。
②１０ｔ、２０ｔ車両が村中心部に入れるようになることで、村の産業活性化の期待。
③ＩＴ革命で重要な、人の交流、物流を促進、保障する村内通る幹線道路としての役目。
④広域農道が本来の目的（農業者、農業用車両、優先）で使用される期待。
⑤農道の拡幅や歩道整備で根本解決にならない。

第１回　意見交換会　要旨

開催日時	９月　２５日（火）　　１９時００～２１時００		
市町村名	三郷村	グループ名	
メンバー	（◎：司会、○：記録者）		

２．（２）高規格道路の反対し、既存生活道路の拡充・整備を求める理由：

①山麓沿いＡ案では冬場まかれる塩カル量膨大と予想。２０～３０年後の塩害影響の恐れあり。

②建設の直接負担はなくても、付随して例えば県道が村の管理になる可能性。国、県が大借金財政なのに、建設すべきでない。

③高規格道路使用料無料でも、三郷村１ヶ所の出入口では、通勤者が使うかどうか疑問。

④山麓沿い走ることと、出入口１ヶ所では産業が発展するか疑問。

⑤緑の安曇野の環境破壊、景観破壊になる。

３．質問&回答：

Ｑ１．準ずる道路とは？

　Ａ．幅は高速並み、２０m、３０m～４０m。側道つけるか否かは、わきの道路事情による。

Ｑ２．道路の形態は？

　Ａ．ルート決まっていないが、もし既存の道路があれば立体交差の形になる。

Ｑ３．引込み線の工事はどこがするの？

　Ａ．引込み線は、高規格道路の付随になるので、高規格道路の建設主体である県がやることとなる。

４．次回、もっと沢山の村民の参加を得るには？運営方法について：

①有線放送で流す。

②広報などでニュースを流す。

③資料公開請求については、今回の議論を傍聴した立場で次回、このグループの意見交換がより深まっていくためにどんな資料が出せるか、県に考えてもらう。

（例えば、交通量調査‥‥小倉の指摘された場所での。もしあれば）

④出された問題点に対する、全国的な対応例を県の担当機関に示してもらう。

⑤次回の意見交換会の日程を決める方法は、行政（村と県）側に決めてもらう。

⑥第１回目の参加者は、これで１つのグループを作り、次回以降の参加者は別グループを作る。